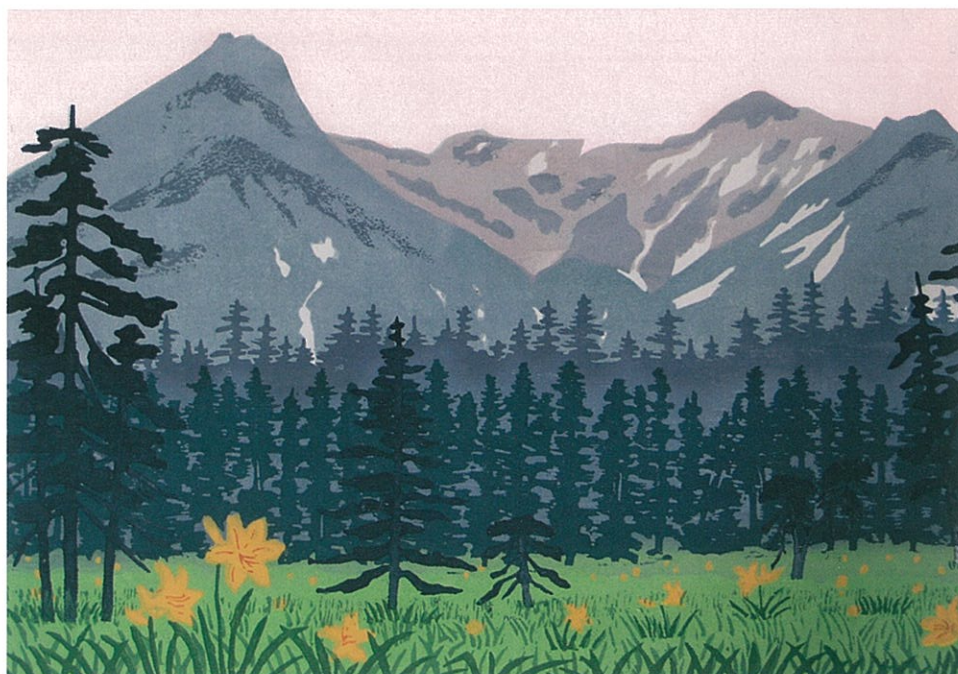


(一財)札幌市環境事業公社 情報誌 第12号

アンパス

un pas

フランス語で「一步」の造語。一步一步お客様との絆を深め、
ともに環境への理解を深めるという意味を込めました。



『大雪連山』 小出 匡 作

「アンパス」第12号をお届けいたします。

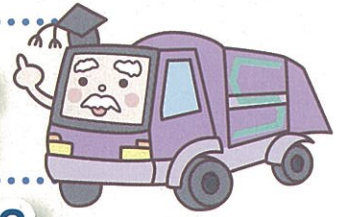
今号はイラストを交えた粗大ごみの収集に関する説明と、(株)北海道熱供給公社 中央エネルギーセンターの施設紹介となっております。

本誌に対する皆様のご意見がございましたら、ぜひお寄せください。

また、自社の紹介・PRなど、本誌に掲載希望の記事がございましたらお気軽にご相談ください。

教えて!

パッカー博士



会社などから出る大きなごみは収集してくれるの?

今日は大きなごみがあるのよねえ～。

あっ!

ちょうど収集車がきたわ。

★★★★キャラクター紹介★★★★



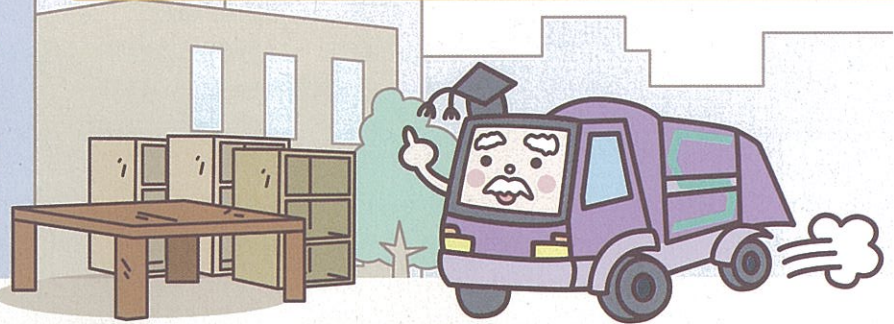
パッカー博士

札幌市環境事業公社の収集に長年携わっている古参の収集車（パッカー車）型は古いがまだまだ現役、知識も豊富
仲間の収集車たちからは「パッカー博士」と呼ばれ慕われている



未来みどりさん

市内の会社に勤めるOLさん
この4月から社内のごみの担当になりました。
でもごみのことについては、まだ判らないことが多くて勉強中です



こんにちは博士～!

今日のごみは応接テーブルとカラーボックスが3個あるのよ。



すまんがわしては応接テーブルとカラーボックスは収集できないんじゃないか…

あっ、そうかあ!

ごめんなさい、大きなごみは「大型ごみ収集センター」に申し込むのよね。



いやいや「大型ごみ収集センター」で受付するのは一般家庭から出る大きなごみなんじゃよ。

会社などから出る大きなごみは、「粗大ごみ」として環境事業公社で収集できるんじゃないが、収集できるものが限られておるんじゃない。ちょっとこれを見てくれるかな。



「粗大ごみ」として収集できるものは？

廃木材（魚箱等）、木製品、畳（わら製）、じゅうたん（天然繊維でできたもの）、乾燥した木等

- ❗ 最大の辺、または径が 50cm 以上 2m 以下で、重さが 100kg 以下のものに限りませす。
- ❗ 産業廃棄物に該当するもの（金属製ロッカー等）は収集しておりません。

なるほどねっ！

それならお願いした応接テーブルとカラーボックスは
木製だし OK ね！



たしかに環境事業公社で収集はできるんじやが、
「粗大ごみ」を出す時にはお客さんに事前に連絡
をお願いしておるんじやよ。

なぜかというとな、

なぜ事前の連絡をお願いしているの？

- 1 「粗大ごみ」として収集可能なごみなのかを確認するため
- 2 予定数量を確認するため（複数のお客さんの「粗大ごみ」を積み合わせで収集するからです。）
- 3 粗大ごみ収集用の車（プレスパッカー車）を配車するため
- 4 お客さんに収集車が横付けできるところまでごみを出しておいてもらう必要があるため



プレスパッカー君



と、いう訳なんじやよ。

ふ〜ん…

事前に連絡してなかつたし、
博士じゃ積めないんだあ…

それじゃあ環境事業公社に連絡して「粗大ごみ」の収集をお願いするわね。
教えてくれてありがとう博士！

な〜に、

お安い御用じやよ！
さあ、収集再開じや！！



会社などから出るごみについてご不明なことがございましたら、
札幌市環境事業公社（電話番号 219-5353）までお問い合わせください。
また、環境事業公社ホームページも併せてご活用ください。
<http://www.kankyousapporo.jp>

施設紹介

(株)北海道熱供給公社中央エネルギーセンター

札幌市環境事業公社は、札幌市内の事業所から収集した枝木等のリサイクルを行い、その一部が木質バイオマス燃料(チップ)として札幌都心地区の「地域熱供給」に利用されています。

「地域熱供給」は、温熱を製造する熱供給プラントから、一定地域内の複数の建物に冷熱と温熱を供給して、冷暖房や給湯を行うシステムです。

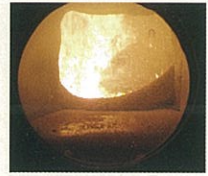
(株)北海道熱供給公社の中央エネルギーセンターは、札幌都心地区の深刻な大気汚染問題を解決するために、昭和46年10月に道内初の「地域熱供給」を開始した非常に歴史のある熱供給プラントで、現在は木質バイオマスボイラ1基を含む4基のボイラが稼働しています。

中央エネルギーセンターでは、平成21年度から温室効果ガス削減のため、CO₂の排出量が多い石炭燃料の代替と

して、天然ガスと木質バイオマス燃料の使用を開始しました。

木質バイオマス燃料の使用により平成24年度の同センターのCO₂排出量は、平成17年度～19年度と比較して、約40,600トン/年の削減を達成し、環境負荷の大幅な低減に貢献しています。

現在、札幌市都心地区の熱供給エリアは全国的にも広域な106haで、中央エネルギーセンターを含む3つの熱供給プラントがエリアの熱供給を担うとともに、天然ガスや木質バイオマス燃料を積極的に活用し省エネルギー効果を発揮することで、環境負荷の低減を実現しています。



施設概要

施設名称：(株)北海道熱供給公社 中央エネルギーセンター
TEL011-741-1301

所在地：札幌市中央区北7条東2丁目1番20号

施設規模：[敷地面積] 11,683m²

[建屋] 鉄筋ALC板5階建 8,485m²

[主要設備] 水管式温水ボイラ

〔ガス焚 : 167GJ/H 2基〕

〔木質バイオマス焚 : 113GJ/H 1基〕

〔灯油焚 : 167GJ/H 1基〕

煙突：RC鉄筋コンクリート造、高さ90m

木質燃料貯留庫：貯留量 1,940m³(590トン)

熱供給開始：昭和46年10月1日

平成26年5月発行

編集・発行／一般財団法人札幌市環境事業公社
札幌市中央区北1条東1丁目 サン経成ビル

<http://www.kankyou-sapporo.jp>

●本誌に関するご意見、ご要望等

電話 219-2053 FAX 219-0882

●事業系一般廃棄物の収集全般に関すること

電話 219-5353 FAX 219-0053